

栃木県教育委員会定例会会議録

平成29年5月9日(火)、栃木県教育委員会定例会を栃木県庁南別館内教育委員室に招集した。

1 出席者（教育長及び委員）は次のとおりである。

1 番（教育長）	宇 田 貞 夫
2 番	伏 木 由 佳 子
3 番	工 藤 敬 子
4 番	陣 内 雄 次
5 番	岡 直 樹
6 番	吉 澤 慎 太 郎

2 議事に参与した職員は次のとおりである。

教 育 次 長	松 崎 禎 彦
教 育 次 長	池 田 聖
参事（高校再編推進担当）	丹 羽 章 泰
総合教育センター所長	軽 部 幸 治
総 務 課 長	熊 倉 精 介
施 設 課 長	坂 入 武 司
教 職 員 課 長	大 島 政 春
学校教育課主幹(指導担当)	柳 田 伸 二
特別支援教育室長	中 田 誠
生涯学習課長	鈴 木 惠 治
スポーツ振興課長	田 代 哲 郎
文化財課長	平 野 裕
健康福利課長	野 原 正 祥
総 務 主 幹	伊 澤 純 一
人権教育室長	関 口 哲 夫
児童生徒指導推進室長	伊 澤 雅 幸
学力向上推進室長	齊 藤 正 幸
競技力向上対策室長	岡 田 雅 人
世界遺産登録推進室長	佐 藤 光 正

3 午前9時30分、教育長及び委員は全員出席しており、委員会は成立したので、教育長は定例会を開催する旨を告げた。

4 教育長は、本日の会議録署名委員に3番工藤委員を指名した。

5 教育長は、本日の議案等のうち、報告3、第1号議案及び第2号議案については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、会議を非公開で行いたい旨を諮ったところ、全出席者の賛成により非公開とすることに決定した。

6 教育長は、報告を受ける旨を告げた。

7 報 告

(1) 平成29年3月27日那須雪崩事故検証委員会について

教育長から説明を求められ、教育次長（管理）が説明した。

この報告に関して、出席者から次のような質問や意見等があった。

〔委員〕

- ・ 先月の定例会終了後に、献花に行ったところ、まだ雪がたくさん残っており、事故に遭った方々のことを思い、胸が締め付けられた。
- ・ 亡くなった方のご遺族はもちろんのことであるが、雪崩を逃れることができた方々の心のケアを、しっかりとやっていかなくてはいけないと思っている。
- ・ 生徒たちの上達したいという気持ちもとても大事だが、許容される範囲について考えていかなくてはならないと思った。特に山岳部は、自然の厳しさに晒されるので、今一度考えなくてはならない。
- ・ 検証委員会の報告も、状況が確定していないので、経過を見守りながら、今回の事故も含め、中学校や高校の部活動の在り方を見直していかなくてはならないと感じている。

〔委員〕

- ・ 検証委員会が設置され、今後、専門家によって事実関係が明らかになっていくと思うが、その過程の中で、今回の事故の原因解明と同時に、再発防止に重きを置いて、検討していただきたい。
- ・ その際、引率教員や行程表等のチェック体制と、現場に立った引率教員の判断基準といった二つの側面の見直しをしなくてはならないのではないかと考える。
- ・ 今回のような事故が起きると、校外活動を止めるという方向になりがちであるが、こういった活動は必要があって行われているものであるので、決してそういうことではない。
- ・ これまで、幸い事故に至らなかったというケースもあると思うので、「去年大丈夫だったから、今年も大丈夫」ということではない。
- ・ 慣例的なものだけでなく、他の活動についても併せて見直しを図っていただきたい。

〔委員〕

- ・ 8名の方が亡くなったことと、多くの方が怪我をされたということをしつかりと重く受け止めなければならない。
- ・ 検証委員会が立ち上げられ、スピード感を持った検討も必要ではあるが、当然ながら丁寧な検証を是非お願いしたい。また、その結果を今後に生かすというところを提言の中でしっかりと述べていただきたいと思う。
- ・ 再発防止が非常に重要である。他の委員からも意見があったが、現場を含めてしっかりと丁寧に検証していただき、情報共有していくことが、事故の後に苦しんでいる方たちにとっても重要なことだと思う。
- ・ 今回の事故で、校外での活動ということの難しさを痛感した。今回は、

栃木県高等学校体育連盟登山専門部主催の春山登山安全講習会であり、安全管理というところではかなり徹底したものが必要だったのではと思う。

- ・ 指導されていた先生方は十分その点を検討されていたと思うが、もう一度しっかりと根本のところから、校外での講習会を実践していくためのリスク管理も含めて、検証委員会で検討していただきたい。

〔委員〕

- ・ 御遺族の方々は本当に心が痛む思いで毎日を過ごされていると思う。
- ・ 数年前にも雪崩が起きたと聞いたが、今回の件は、慣れによる油断であり、明らかに危機管理意識の欠如である。
- ・ 今回、このような有ってはならない事故が起きてしまったが、日常や学校生活の中でも起こることであると思う。児童生徒を預かり、学力・体力を上げることは大切であるが、それ以前に、私たちは命を預かり、命を育てているということをしっかりと認識しなくてはならない。
- ・ その上で、危機管理についてももう一度しっかり考えていくべきだと思っている。このことは、今回の事故の引率教員だけではなく、全ての教員に伝えていただきたい。
- ・ 検証委員会では、証言が食い違う部分も出てきており、事故がどうして起きたのか、まだはっきりしていない。6月の中間報告では、御遺族が納得されることをお伝えできるように、スピード感を持って、検証していただきたい。

〔委員〕

- ・ 今回の事故については、大変重く、大きな出来事として受け止めている。
- ・ 検証委員会が立ち上がったので、その提言に基づき、教育委員会として、今後の活動について検討していくことになるが、活動自体が決して停滞したり、止めたりすることがないように、どう生かしていくかが非常に重要だと思う。
- ・ 他の委員からも話があったが、亡くなられた方、そしてそのご遺族の方々にとって、この悲しみはずっと永遠に続くので、是非その方々にとって納得のいく検証結果が得られることを心から望む。

〔教育長〕

- ・ ただ今、それぞれの非常に重いご意見をいただいたが、教育委員の思いということで検証委員会に伝えることとし、我々自身も心して今後対応していく所存である。
- ・ 情報等については逐次お知らせしているところであるが、引き続きのご指導をお願いします。

- (2) 中・高校生全国大会優勝者・指導者知事表彰について
教育長は、事務局からの説明は割愛する旨を告げた。
この報告に関して、出席者から質問や意見はなかった。

- 8 教育長は、報告3、第1号議案及び第2号議案については、先の決定のとおり、会議を非公開で審議する旨を告げた。

また、報告3については、進行の都合上、議案の審議終了後に報告を受ける旨を告げた。

- 9 第1号議案 栃木県高等学校等修学資金貸与条例の一部改正について
第1号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 10 第2号議案 学校職員の懲戒処分について
第2号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 11 教育長は、報告3について説明を受ける旨を告げた。
(3) 学校職員の分限処分について
教育長から説明を求められ、教職員課長が説明した。
- 12 教育長は、以上で本日の会議を終了することを告げ、午前10時51分、閉会した。